

編集後記

本年も「矢作川研究」をお届けします。研究所では今年度のアユシーズンに天然アユが棲みやすい川底環境を創造し、かつてのよく釣れた昭和40年代の川に復元する実験を阿摺ダム下流で行いました。シンポジウム記録では、その計画について議論した内容を記録しています。皆さまのご意見、ご感想、また研究所へのご要望をお寄せ頂ければと思います。

2018年3月
矢作川研究編集委員会